

令和元年度 学校評価報告書

令和2年2月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美深高等養護学校長
(あいべつ校)
長 野 藤 夫 印

次のとおり令和元年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 育成を目指す資質・能力の三本の柱である知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性の等の涵養に努める。 ② カリキュラム・マネジメントを確立させ、教科別指導の充実を図るとともに、各教科等の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行う。 ③ キャリア教育・進路指導の一体的指導により、生徒一人一人の充実した社会生活や進路実現に向けた教師の手立て及び授業構造の変革を図る。 ④ 道徳科を要として、学校の教育活動全体を通じて心の教育を展開し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 |
|---|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、全ての項目（19項目）で肯定的回答が90%を越えており、おおむね高い評価を得ている。保護者や地域に開かれた学校の実現に向け、教職員一人一人が生徒・保護者・地域に対して真摯な取組を継続している結果と捉える。 ・「おおむね十分」（19項目）や「やや不十分」（13項目）という回答もあることから、全ての項目において「十分である」という回答が得られるよう、教職員一人一人の意識の向上や取組の評価に基づく改善・充実に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した企業内作業学習や、清掃や除雪など、地域に根ざした教育活動の取組で生徒たちが頑張っている姿が伝わってくる。学校の真摯な取組が生徒の卒業後の進路に生かされていると感じた。 ・作業学習を参観をとおして、生徒の前向きに取り組む姿勢を見ることができた。日頃の指導の成果として捉えることができる。 (学校評議員)
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標や教育方針等の達成を目指し、目標設定から評価に至るPDCAサイクルにより顕在化した課題解決に向け取り組むとともに、新高等部学習指導要領への円滑な移行と実施に向け、教職員の学校経営への参画意識を高めるための取り組みの充実を図る。 ・教員個々の専門性向上に資する校内実践研究に継続して取り組み、校外における研修会等にも計画的かつ積極的に参加し、生徒に対する指導についての充実を図る。 	
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、全ての項目（17項目）で肯定的回答が80%を越えており、おおむね高い評価を得ている。 ・否定的回答やわからないの回答もあり、保護者への丁寧な説明及び対応、情報提供に努め、保護者との共通理解に基づく、学習指導及び進路指導の改善とさらなる充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の項目の評価が低い値となっている。生徒には同窓会等をとおして、卒業後も親睦や交流を図る機会があるが、保護者にはない実情があり、卒業後の保護者間のつながりや交流の場としても大切な活動と考え、内容の充実に努めてもらいたい。 (学校評議員)
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者に対して進路先決定までの具体的な流れや、卒業後の生活に関するより具体的に分かりやすい情報発信の在り方について、改善、検討に努める。 	
生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・「満足度」「学習指導」「生徒指導」については、社会人として必要な力を明確にし、生徒一人一人の課題や学びの特性を把握した指導の成果と考えられる。 ・「困り感」「信頼関係」「進路指導」の否定的な回答の高さは、学校生活の不満や、将来の生活や進路選択の不安が要因として考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習を中心とした学習活動や企業内作業学習等をとおして、いろいろな経験をし、その積み上げができていると思う。今後も、多様な経験を重ね、生徒の進路選択や進路指導に生かしていくことを期待する。 (学校評議員)
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が、将来の生活をより具体的に見通せるような進路指導の充実を図る。 ・町内での行事参加、生徒会活動、部活動等の協働的活動をとおして、生徒が役割意識を感じ、より主体的に取り組みながら良好な人間関係づくりが図られるよう努める。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載 ・分析結果の配布（保護者） 	

3 添付資料

- ・アンケート集計（教職員、保護者、生徒）
- ・令和元年度学校評価の分析（保護者・生徒・教職員と保護者の比較）
- ・令和元年度学校評価の結果